

記述回答のまとめ ◎＝30以上 ○＝10以上 △＝3～9 ・＝2以下

「スポーツ立県秋田あきた」について

問19(1) 【記述者219名】

宣言の前と後で変わったと思われることがありましたらお書きください

○プロスポーツについて【23名】

- ※プロスポーツのPR活動が活発になった
- ※テレビやニュースでプロスポーツチームの活躍を耳にする機会が増えた
- ※県内でプロスポーツを観戦できる機会が増えた
- ※ブラウブリッツなどプロチームの情報発信やスポーツ教室の回数も多くなった
- ※ブラウブリッツやノーザンブレッツなどプロスポーツの誘致など積極的になった
- ※プロスポーツ競技を楽しむ機会が増えていると思った
- ※プロスポーツのクラブ等を支援することで、活気が出てきた
- ※県や市町村のサポートがみえる

○誘致・招致・イベントについて【14名】

- ※様々な大会の誘致や宿泊・練習場の誘致を積極的に行っている
- ※合宿先の提供、スキー会場の整備などスポーツに関する行事や誘致が積極的になった
- ※野球・バドミントンの大会や合宿の誘致が増えた
- ※スポーツイベントや大きい大会の招致は増えた

△市町村について

- ※市町村駅伝などのスポーツ行事が増えた
- ※チャレンジデーへの参加市町村が増加、ほとんどの市町村が参加していると感じた

問19(2) 【記述者667名】

スポーツについて秋田県の施策で不足していると思われること、もっと取り組んでほしいことがありましたらお書きください

◎施設について【133名】

- ※一定以上の実力がある選手が満足する施設が少ないと思う
- ※施設不足、屋内・外のスポーツ施設の充実
- ※遅くまで使える体育館やグラウンドが大小問わずあればよい（ナイター施設の整備）
- ※各施設の駐車スペースの不足
- ※県外に誇れる、現役有名選手を呼べるような大きなスポーツ施設がほしい
- ※県南にも県北の花輪の様に、夏冬通して使用（大会など）出来る施設がほしい
- ※公共施設の無料化
- ※公共のスポーツ施設の充実
- ※アドベンチャー的な施設を増やしてほしい
- ※市営、県営などの公営の施設が足りない
- ※山形の寒河江スケートパークのようなストリートスポーツを楽しめる公共の施設がほしい

◎スポーツ指導者について【72名】

- ※オリンピックレベルまでの選手が引退後“指導者”として「生きていける」環境づくりが重要で、その環境があれば誰しも“必死”になって栄光をつかもうと頑張ると思う
- ※全ての競技についての指導者の育成と支援を「公的」経費でまかなえなければ継続性もな

く一時的なものになってしまい、県や国が施策として関わらない限り無理、勝負に勝つにはそれなりの支援が必要（ボランティアによる支援の限界）

※各種目の指導者教育

※学校教育への優秀な指導者の導入・育成

※もっとジム（体幹トレーニング）の指導者および場所を作ってもらいたい

◎個人的な運動についての公民館・コミセン等への悩み要望【36名】

※活動していないチームが年間通して体育館を予約しているので困る

※新規で活動するチームに対して窓口が狭すぎ

※競技施設（スタジアム、グラウンド、体育館）若手指導者の就職先の確保

※体育館、コミセンが冬期などは特に予約がとれず、練習場所の確保が難しい

※コミセンの駐車場の問題

※誰でもできるスポーツ教室を増やしてほしい

※プール・体育館の設備の充実

※フットサルの出来る体育館が少ない

※子供のための水泳教室をもっとやってほしい

※一般開放している日時や料金等をもっと知らせてほしい

○PR不足【26名】

※普段スポーツに関心のない人でもやってみたいと思えるようなPRがほしい

※プロスポーツの人気の高まっていると共に、生涯スポーツも普及しているが報道機関によるスポーツ報道は、プロスポーツと競技スポーツがほとんどであり生涯スポーツの報道がすくなく、県内のスポーツ紙もプロスポーツと競技スポーツが中心、これでは淋しい

※40代、50代、60代が気軽に参加できるように町でもっとPRしてほしいどんなスポーツに参加したいか、アンケートを取って、皆が参加しやすい環境作りが大事と思う

※PR不足・老人でも取り組みやすい環境

※秋田に誘致した試合のPRが不足

○高校のスポーツについて【20名】

※高校野球、サッカーの強化

※高校野球が全国レベルでないので残念です

※高校野球にもっと県外の有能な指導者を連れてくる

※スポ少で子供たちが力をつけてその後中学・高校での指導で伸びずに残念な結果に終わっている、続けていくことに意味を持てるような環境づくりが必要

※昔に比べスポーツのレベル低下があります（特に高校野球・スキー等）レベル向上に何かの策を考えてほしい

○プロスポーツ関係について【20名】

※子供たちにはできるだけプロスポーツを観戦する機会を与えたい

※この数年でプロチームが増えてきた事が嬉しい、各チームの試合観戦やイベントを通してさらに秋田全体でスポーツに熱狂できるような雰囲気づくりに期待しています

※全国規模の、特にプロスポーツの大会を開ける設備が不足している

※プロスポーツの活性化

※プロスポーツの招待が少ない

※プロスポーツを観戦したときの帰宅の交通手段の確保もっと開催してほしい

○助成金、補助金等について【16名】

※強化選手等への補助金アップ（各スポーツ団体への資金提供、保護や支援活動、宣伝等）

※ジュニアの育成にもっと金をかけてほしい

※小・中・高校生の県外大会参加への補助金交付やメジャーな選手を招いての練習会

※小・中のボランティアで指導者にはお金と時間をかけて関わっている人が多いので、金銭面で保証してほしい

※スポーツによる外貨取り入れの取組

○イベント・招致について【14名】

※チャレンジデーのように気軽に楽しむことのできる住民参加型のスポーツイベントが増えるといいと思います

※多くの市町村が参加しているチャレンジデーを県として後押しできないか

※参加率向上のため県の組織的な宣伝活動があれば参加率も向上できると感じた

※プロスポーツの試合が増えた気がする

○高齢者に向けての施策について【11名】

※高齢者の為に活動する施設までの交通手段方法を検討して貰いたい

※高齢者が病氣しない、させない方法の導入を促進してほしい

※高齢者に健康維持のためにスポーツの場を与え総合型スポーツクラブをもっと多くし、コミセン等の使用料を以前のように無料にしてほしい

※行政主催か民間のスポーツクラブに委託して、高齢者の人々に呼びかけて、多年代（子どもから高齢者、障害者）による「楽しい健康体力づくり」の教室など開いてほしい

※地域の子供から高齢者まで実践できるような施策が不足

=====
問20 【ア〜ク記述者合計1126名】

あなたの住んでいる地域や秋田県のスポーツについて、普段感じていることがありましたらお書きください

=====
ア) スポーツ少年団について 【記述者数370名】

◎少子化について【81名】

※人数が少なくチームとしての活動ができないでいる

※部活・クラブ数自体が少なくなっている

※自分の子供が適齢になった時にスポーツできる環境があるか不安

※広域で協力する必要がある

◎指導について【67名】

※時間制限が守られていない

※スポーツの楽しさを教えてほしい

※健全な心を育成してほしい

※指導に体罰はいらない、指導者を育成してほしい

※無償で指導していただいてありがたい

※指導者の不足

※教員に関わってほしい

◎過熱化について【65名】

※スポ少が忙しく、地域行事に参加できない

※活動を聞くと保護者としても協力できるか不安で入りたいが入部できないでいる

※土日大会が多すぎる、休みがない

※練習のしすぎ、勉学に支障を来している

※活動が多く集金回数が増えてきているので継続が困難になってきた

※入部したので協力したい

※のびのびスポーツをさせたい

◎親の負担について【４５名】

- ※仕事を早退してまで協力している方がいるが、みんながそうできないので難しい
- ※熱くなるほど費用が高くなっていく為、今後は継続が難しいと感じ始めている
- ※最近のスポ少は負担が大きいと聞くので子供が入りたがっていても参加できずにいます
- ※子がスポーツを楽しめ、親も気軽なスポーツクラブ等はないだろうか
- ※平日の送迎が大変で歩いて行ける所に活動場所があればと切に思う
- ※親同士の関わりが多く良い面・悪い面がある
- ※秋田市と他地域の活動日数を見ると決まりが統一されていないので統一するべきである

○活発な活動について【２７名】

- ※子ども達の頑張りが素晴らしい
- ※意欲的で仲間との協力体制も充実している
- ※地域・家族ぐるみで頑張っている

○地域の力・行政について【２５名】

- ※行政に活動を支援・指導してほしい
- ※スポ少の指導資格は更新・義務講習等が有り出費も大きい為、必要最低限の指導者への助成金等があればうれしい
- ※地域の協力が少ないと感じる
- ※県や市あらゆる方面から応援してほしい
- ※大きいクラブ等には支援があっても、小さい少年団にはいいことがなく不平等を感じる
- ※スポーツ少年団に特化することで、幅広い生徒の基礎競技力を向上させることが阻害されていると感じている
- ※補助金制度の確立と増額
- ※指導者への報酬があればよい
- ※自治体の協力がもっとほしい

○スポ少化について【１９名】

- ※指導者が一般の方になってからは活動時間が夜遅くとなり、子供に良いか疑問がある
- ※学区を越えた広域的な活動となり、保護者の協力がないと成り立たない
- ※小学校が関わりを持たないと親が仕事ができない
- ※学校敷地内で実施しないスポ少は、子供が活動場所まで移動できず入部できないでいる
- ※子供が入りたがっているが、保護者の賛同を得られずに入団できない子供が多々いる
- ※教師も教育の一貫としてスポ少に関わってほしい
- ※学校から切り離すべきである

○保護者について【１８名】

- ※子供より保護者がヒートアップしている
- ※保護者会に向けた指導がない

○施設について【１２名】

- ※施設を有効活用しスポーツができる環境をつくる
- ※施設不足
- ※他クラブの活動終了時刻の徹底は施設側で指導してほしい
- ※夜間に開放してくれるところが地域に少ないので小学校の夜間使用を推奨してほしい

△広報について

- ※どのような団体があるか教えてほしい

※情報発信不足

△小・中の連携について

※同地区の小・中学校で活動する部活を調整してほしい

・スポ少単位ではなく、クラブスポーツを発展したほうがよい

＝＝＝
イ) 中学校の部活について 【記述者数 214名】

◎指導について【55名】

※外部指導者を積極的に活用してほしい

※以前のように地域やまわりの人達とも関わりながらスポーツ力を高める指導を継続できる
よう指導してほしい

※勝つことも大事であるが、そのスポーツの楽しさを知り、体力をつけて総合的な生活活動
にプラスになるような指導をしてもらいたいと思う

※技術面での指導が出来る人の不足（人材不足）規制が多すぎることに

※指導者に対する教育・指導があればよい

※指導者は指導方法について勉強した者を指定してほしい

※県北・中央・県南で指導者のレベルに差がある

※指導者のいない部活動はどうあったらいいのかと悩んでいる

※相撲競技を普及させるため指導者を育成してほしい

※指導者の育成が必要であり、指導者の適材適所に配属すべきである

※生徒の技能アップは指導者によるところも大きいので、指導者（先生）は、特定の学校に
偏ることなく異動させてほしい

※縄張り意識が強く外部から指導者が参加できる体制がない

○少子化について【23名】

※少子化で部活動に支障がある、また他校と合同チームも難しい

※少子化でも盛んである

※少子化なので仕方ないことだが、団体競技ができなくなっている

※少子化のため協力できる親も少なく協力する親の負担も多くなっている

※少子化によりスポーツ少年団や中学の部活がこれまでのような活動ができず好きなスポー
ツをあきらめることがある

※子供たちが好きなスポーツに参加し、大会に出られるような環境がほしい

※環境が整わないと、やりたくてもやれない子が増えると思う

○保護者について【17名】

※保護者が口を出しすぎ、関わりすぎ

※お金の負担が大きい

※負担が大きい、仕事の休みが合わない

※もっと指導者にまかせてもよいと思う

※保護者の関わり方に気持ち悪さを感じる（過干渉）

※保護者の協力する場面が多く、保護者が協力できない家庭ではスポーツを続けることを
あきらめることもある

=====

ウ) 高校の部活について 【記述者数 143名】

○指導者について【27名】

- ※外部指導者を積極的に活用してほしい
- ※県北・中央・県南で指導者のレベルに差がある
- ※実績のある指導者を積極的に招致し、全体レベルの底上げを
- ※勝利をよべる指導者がいない
- ※指導者不足
- ※全国大会での上位を狙える生徒を育てる指導者の育成を早急に行うべきだと思います
- ※体罰等を起こした指導者をそのままにはいけない、再び起こってからでは遅い
- ※縄張り意識が強く外部から指導者が参加できる体制がない
- ※部活動の指導者が専門の指導者であることを希望します
 - ・筋力トレーニングが不足しており、全国の強豪校にくらべ体格が劣っていると感じるので、全国大会を勝ち抜くためにも、基礎体力を強化しなければならない
 - ・全国規模の大会で勝ち進むために技術・メンタル面での強化及びサポートが必要

○野球について【15名】

- ※秋田県の高校野球の技術の低下を感じる
- ※秋田の高校野球を強化して、全国レベルで戦えるようにしてもらいたい
- ※高校野球の指導や設備の向上をしてほしい（全国で勝っていけるように）
- ※高校野球の全国優勝してほしい
- ※高校野球のレベルが上がり、全国で活躍する選手がもっと増えると嬉しく思い、また活躍している選手が多い事
- ※全国の大会でもっと上位に入ってほしい（野球、駅伝など）特に高校野球は県で力を入れるといっても他県の強豪とは大きな差があると感じている
- ※野球の強化の期間はいつまでで目標は何処なのだろうか？他の部活にも力を入れるべき

=====

エ) 大学のスポーツについて 【記述数23名】

- ・実績のある指導者を誘致し、全体レベルの底上げ
- ・選手が少ない、育たない
- ・様々な大学の合宿を受け入れる等スポーツ活動を支えている
- ・学校は勉強が基本スポーツ推薦システムはどうかと思う
- ・会社員の方々がすべてのスポーツ指導にボランティアしていることに感謝

=====

オ) 社会人のスポーツについて 【記述者数 92名】

○要望について【22名】

- ※健康づくりのためのスポーツを盛んにしてほしい
- ※もっとバスケの試合を増やしてほしい
- ※社会人サークルが少ない
- ※ニュースポーツをどう続けていくかの提案
- ※受け皿がない
- ※企業誘致
- ※県と一体感のあるプロスポーツの育成

- ※男女、家族と一緒に活動できるイベントを企画してほしい
- ※マイナースポーツにも力をいれてほしい
- ※18時以降にできるスポーツが増えてほしい

○施設について 【18名】

- ※シャワー施設が整った施設があればいい
- ※秋田市内で利用できる体育館が少ないネットで予約できるが倍率が高くほとんど抽選ではずれてしまう
- ※場所をなかなか貸してくれない
- ※施設が少なく古い
- ※エンターテインメント性を追求し展開できるようなスポーツ施設の建設計画
- ※市・県の施設の使用料が高い
- ※体育館や施設をもっと借りやすくしてほしい
- ※活動していないチームが通年で予約が有効なこと自体おかしい

△PRについて

- ※イベントの開催の周知が足りないように思う
- ※スポーツクラブを紹介するサイトがあればいい
- ※どこへ行けば何のスポーツに参加できるのかクラブ・サークルの紹介などもっと必要

=====

カ) 高齢者のスポーツについて 【記述者128名】

◎要望 【32名】

- ※スポーツできる環境づくり
- ※スポーツレクリエーションの開発
- ※指導者の充実
- ※ニーズに応じ企画
- ※道具を買うとき補助金があればいい
- ※高齢者の冬のスポーツは無理のようなので11月頃に変更する
- ※高齢者のスポーツクラブ総合型を多くしてもらいたい
- ※スポーツと食をテーマに健康保守のスポーツをもっと取り入れてほしい
- ※気軽に出来る種目を普及していただきたい
- ※カーリング教室をやってもらいたい
- ※パワーリハビリは必要としている人が参加できるようにしてほしい
- ※軽い山を案内人付きで年2、3回の企画

○施設について 【27名】

- ※常時できる場所がほしい
- ※施設の無料解放を願う
- ※半面だけでも個人利用に使わせてほしい
- ※予約が取りにくい
- ※冬期間利用できる場所・施設に取り組んでほしい
- ※施設が少ない
- ※器具を常備する検討をしてもらいたい

○PRについて 【11名】

- ※情報発信不足
- ※広報などでもっとPRを

△グラウンドゴルフについて

※グラウンドゴルフ会場が少ない

※公園でのグラウンドゴルフはいいが、公園内まで車を入れるのはやめてちゃんと駐車場にとめてほしい

△交通手段について

※やりたいスポーツはあるが交通手段がない

・けが人が多い

・ニュースポーツをどんどん進めてもらいたい

・ゲートボールに加入する人がほばいない

=====
キ) 障害者のスポーツについて 【記述者30名】

△スポーツをする環境について

※スポーツできない人もできる環境づくり

※夜間も気軽に開放してくれる公共施設が少ない

※知的障害者にスポーツの場を提供してくれるような機会がもっとあったらいい

※楽しく楽しくできるスポーツ環境があればいい

※楽しく参加できる健康教室があればいい、一般の方との交流の場を多くする

※環境等の整備（障害者スポーツの指導者が活動していない）

※障害者は障害者の枠だけでくる必要はない

△PRについて

※障害者とか関係なく、みんなで楽しめるスポーツはないか知りたい

※障害者への施策等のPRをどんどんやるべき

※ボランティア不足、参加者不足、もっとPRするべき

・選手強化

=====
ク) プロスポーツについて 【記述者126名】

○活躍・応援・今後の期待について【13名】

※ハピネッツやブラウブリッツの活躍は県や市町村のサポートがあるからである

※ハピネッツのブースターの熱心さ盛り上がり

※ハピネッツの活躍がうれしい、今後も期待している

※ハピネッツの試合はピンク一色で観戦しに行くのが楽しみ

※人気があるハピネッツのように県全体が盛り上がるチームがあればいい

※ブラウブリッツというプロチームが秋田にはあるので、高校サッカーのレベルを上げることで地元の子供達の目標となって県としても底上げにつながるのではないかと

※J2に上がってほしい

※ブラウブリッツをもっと盛り上げアピールしたい

※会場に屋台とか出店して集客率アップ

○施設・誘致について 【11名】

- ※誘致のためにもＪリーグ規格のスタジアム建設に、県と市が前向きに考えてほしい
- ※一流選手が出場する大会を誘致して目標をイメージできる環境を整えてもらいたい
- ※施設の充実と試合を積極的に誘致して、スポーツ立県に寄与すべきと考えます
- ※市の球場がリニューアルしたのでプロ野球の誘致などは続けてほしい
- ※もっと試合を誘致した方がいいと思う
- ※秋田市など「市」では大きなスポーツ大会を開催できているが、「町」や「村」でも開催できないものか
- ※Ｊリーグ規格に合ったスタジアム建設に、県、市がもっと前向きに取り組んでほしい
- ※施設の充実と試合を積極的に誘致して、スポーツ立県に寄与すべきと考えます
- ※年に1回は秋田県に呼んでもらいたい（Ｖリーグ）

△補助について

- ※ブラウブリッツや社会人野球等に県が活動費用などでもっと補助してほしい
- ※プロスポーツに県費での補助は必要ない
- ※公費は県民の健康増進、体力増強に使われるべきである

△観戦について

- ※秋田のチームのバスケやサッカー、ラグビーの試合が秋田で行われるときは観戦したくてもいけない人もいるのでテレビ放送がもっとあればいい
- ※地元のプロスポーツチームのホームゲーム開催試合のテレビ放送が少ない
- ※観戦したくても交通の便が悪いときがある
- ※車中心の秋田だから若干遠くとも県市施設の駐車場の開放を願いたい
- ※観戦チケットの値段が高い